

リーディングDXスクール事業【実践事例】

紫波町立紫波第二中学校【指定校】

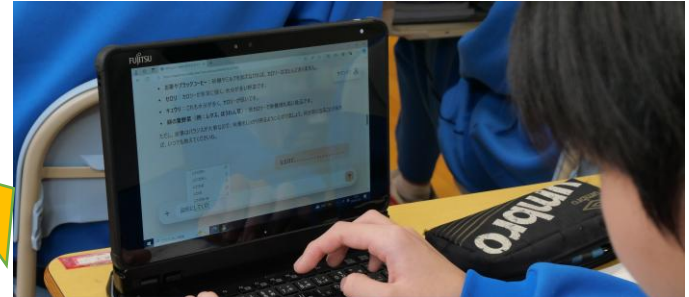
【取組内容】 情報活用能力の育成①

本校で作成した情報活用能力体系表とチェック表

情報活用能力体系表

学習内容	(小) 低学年	(小) 中学年	(小) 高学年・(中) 1年生	(中) 2, 3年生
1. 情報と情報活用能力の育成に関する基礎的な知識と技能	ア タブレット端末の起動や終了、ログイン・ログアウト イ タッチペンを使った手書き入力 ウ カメラ機能を使った写真撮影 エ ファイルの読み込みや保存 オ 「ペイント3D」を使ったお絵描き カ 教材「eライブラリ」の使い方の導入	ア インターネット上の情報の閲覧・検索 イ キーボードによる文字の入力（1分間に30～40文字程度） ウ フォルダ作成によるファイルの整理 エ 文章検索、グラフを作成するソフト、プレゼンテーションソフトの簡単な使い方の オ アンケート機能を使ったアンケートの作成	ア メール等による文字の送受信の仕方 イ キーボードによるローマ字入力（1分間に50～60文字程度） ウ フォルダ作成によるファイルの整理 エ 目的に応じたアプリケーションの選択と操作 オ ビデオ会議ソフトの活用	ア キーボードによる十分な速さで正確なローマ字入力（1分間に60～70文字程度） イ クラウドを用いた協働作業 ウ 目的に応じた適切なアプリケーションの選択と操作 エ 統計的に情報を整理するソフトの使い方
2. 問題解決・探究における情報活用能力の育成	キ 身近なところから様々な情報を収集する方法の理解 ク 簡単な図表やグラフを用いた情報の整理の方法の理解 ケ 整理してまとめた情報を表現する方法の理解 コ 紙の資料やタブレット端末を活用した簡単な発表の仕方の理解	キ 図表や資料等による基本的な情報の収集の方法の理解 ク 簡単な図表やグラフを用いた情報の整理の方法の理解 ケ 複数の表現手段を組み合わせて表現する方法の理解 コ 相手や目的を意識したプレゼンテーションの仕方の理解	カ 図表や資料・図表等による情報の収集と整理の方法の理解 ク 目的に応じた表やグラフなどを用いた情報の整理の方法の理解 ケ 複数の表現手段を組み合わせて表現する方法の理解 コ 相手とのやりとりを含む効果的なプレゼンテーションの方法の理解	カ 遠隔ネットワークなどからの効果的な情報の収集と整理の方法の理解 ク 表やグラフを用いた統計的な情報の整理の方法 ケ 目的や意図に応じて、情報を統合して表現する方法の理解 コ Webページ、SNS等による発表・交流の方法の理解
3. 情報で学ぶ・情報セキュリティなどについての理解	サ 人の作った物大切にすることや、他者には伝えていけない情報があること シ コンピュータを利用する際の基本的なルール	コ 自分の情報や他人の情報の大切さの理解 サ 生活の中で必要とする基本的な情報セキュリティ	コ 情報に関する自分や他者の権利の理解 サ 情報を守るための方法の理解	ケ 情報に関する個人の権利とその重要性の理解 コ 情報セキュリティ確保のための対策と対応の理解 サ 情報主権意識を踏まえたルール策定と遵守
4. 問題解決・探究における情報活用能力の育成（プログラミング活動を含む）	ス 身近な事象から課題を設定する セ 身近なところから情報を集める ソ 身近な事象から情報を取り出し、簡単な図表やグラフ、カードなどを用いて、情報を整理することができる タ 課題を整理しながら、図や表、写真を用いて、自分の言葉でまとめることができる チ 紙の資料やタブレット端末を活用し、簡単な発表をすることができる ツ 情報を整理し、自分の言葉でまとめることができる テ 課題解決の流れを手紙を書きながら表すことができる	シ 日常の事象から課題を設定する セ 図表や資料等から情報を収集する ソ シンクタンクツールなどを使って、情報を整理することができる タ 複数の表現手段を組み合わせて、整理し、自分の言葉でまとめることができる チ 相手や目的を意識した表現方法を考え、簡単な発表をすることができる ツ 情報を整理し、自分の言葉でまとめることができる テ 課題解決の手続きを順次、繰り返し、分岐を組み合わせて表すことができる	シ 地域や社会に目を向け課題を設定する セ 図表や資料・図表等から情報を収集する ソ シンクタンクツールなどを使って、情報を整理することができる タ 複数の表現手段を組み合わせて、整理し、自分の言葉でまとめることができる チ 相手や目的を意識した表現方法を考え、簡単な発表をすることができる ツ 情報を整理し、自分の言葉でまとめることができる テ 課題解決の手続きを順次、繰り返し、分岐を組み合わせて表すことができる	サ 現状を把握し、現在の状況や問題点を明らかにしながら課題を設定する シ 目的や状況に応じて統計的に整理し、効果的に情報を整理することができる セ 複数の表現手段を組み合わせて、整理し、自分の言葉でまとめることができる タ 課題を整理しながら、図や表、写真を用いて、自分の言葉でまとめることができる チ 紙の資料やタブレット端末を活用し、簡単な発表をすることができる ツ 情報を整理し、自分の言葉でまとめることができる テ 課題解決の手続きを順次、繰り返し、分岐を組み合わせて表すことができる
5. 問題解決・探究における情報活用能力の育成（情報セキュリティなどについての理解）	ト 課題に関する情報を集めようとしている ア 情報の活用方法を振り返り、よきを学ぶよう ニ 人のつくったものを大切に、他者に伝える ハ コンピュータを利用する際の基本的なルールを守って活動することができ ネ 情報セキュリティに気を配り、活用しようとする	テ 課題に対する情報活用のつながりを見つめようとする ト 自分の情報や他人の情報の大切さを認識する ア 他人の権利やプライバシーを尊重し、相手のことを考えようとする ニ 情報や情報技術を活用して生活や社会づくりに活かそうとする	テ 情報を積極的に活用しようとしている ト 情報に関する自分や他者の権利を尊重し、活用しようとする ア 他人の権利やプライバシーを尊重し、相手のことを考えようとする ニ 情報や情報技術を活用して生活や社会づくりに活かそうとする	ツ 事象や情報とその結び付きの観点から捉えようとする テ 情報に関する個人の権利とその重要性を尊重しようとする ト 情報セキュリティにルール・法則を守ることを実践し、活用しようとする ア 情報や情報技術を活用して生活や社会づくりに活かそうとする

生成AIを活用した情報の検索と検証



発達段階に応じた着実な育成

地区におけるボランティア活動の発表



育成した情報活用能力を発揮する場面の提供

- 児童生徒の発達段階に応じた育成状況の目安とする。
- 教師が情報活用能力の育成に関する指導の改善・充実の目安とする。
- 児童生徒が情報活用能力について振り返り、課題をもつ。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

紫波町立紫波第二中学校【指定校】

【取組内容】 情報活用能力の育成②

情報活用能力チェック表

年間を通して、前年度と比較して成長と課題を把握

紫波町立紫波第二中学校
中学校3年生

情報活用能力チェック表 (紫波東GIGA中学3)

2学期の振り返りをして、3学期につなげよう。

※質問文の中に「タブレット」「キーボード」等のタブレットに関する言葉が入っている場合は、タブレットを活用した学習のことを指します。それ以外の質問文については、タブレット端末活用に限らず、学習全体の内容となります。

10. チームズなどのビデオ会議ソフトやSNSを通じて、自分の考えを発信したり、交流したりすることができますか。

- ☐ できる
- ☐ どちらかといえばできる
- ☐ どちらかといえばできない
- ☐ できない

11. 文章や発表資料をまとめるときに、これまでの学習経験を生かして、自分なりの方法でまとめることができましたか。

- ☐ できた
- ☐ どちらかといえばできた
- ☐ どちらかといえばできなかった
- ☐ できなかった

情報活用能力チェック表の質問項目（全17問から抜粋）抽出：中学校1年生～中学校3年生児童生徒
※積極肯定「当てはまる」を選んだ生徒の割合

	R5	R6	比較
知りたいことを調べたり、調べたことを発表したりする活動を振り返り、これからの課題を考えることができましたか。	42%	56%	+14
タブレットを自分の学習を深めたり、生活をよりよくしたりするために進んで使うことができたか。	67%	78%	+11
タブレットを使う時のきまりや約束を守ることができたか。	86%	81%	-5

生徒の振り返り（記述）

- ・自分なりの方法で解決をしたい。
- ・相手が見て分かりやすい資料を作れるようになりたい。
- ・自分でアプリを選んで、調べたことをまとめたり発表したりしたい。
- ・発表などをするとき、相手に伝わるように発表したい。

○生徒が自分の課題を把握し、目標をもつことができるように、学期ごとに振り返りを行う

○教師は、「情報活用能力チェック表」から学習状況を把握し、授業改善につなげるために活用。

子供たちの学習状況や思いを受け止め、授業改善につなげる